

令和 6 年第 2 回 多摩市立総合体育館等 指定管理者候補者選定委員会 要点録

開催日： 令和 6 年 8 月 2 日（金）9 時 30 分から 12 時 30 分まで

会 場： 多摩市役所東庁舎会議室

○出席者

委員 5 名

事務局 10 名

○開会

委員長より挨拶

事務局より資料確認を行った。

○議題等

1. 次第 1、第一次審査結果・本日の審査について

事務局より、第一次審査結果及び本日の審査の流れについて、説明がなされた。

2. 次第 2、プレゼンテーション

プレゼンテーションの司会・進行は事務局が務めた。

- (1) 第 1 グループよりプレゼンテーション説明がなされた。プレゼンテーション終了後、委員よりヒアリングがなされた。

※発言者表記 委＝委員、応＝応募団体

■ヒアリング内容

委 指定管理施設の課題は。

応 新型コロナウイルスからの利用人数の回復。特にトレーニングルームについては、コロナ禍前から約 3 割程度減少している。利用者数回復に向けてトレーニング機器の総入れ替えや、指導員等による初心者講習会の実施を提案している。

委 公園文化の醸成とは具体的には何か。また、危機管理として人命に関わる対応がこれまでにあったか。

応 公園の雰囲気づくりを指す。草花で彩を出して施設利用者以外の方が散歩したりするなど、市民が公園としての機能を享受できるようにしていきたい。
人命に関わる対応は経験有。職員による心肺蘇生の対応を行い、その後回復されている。

委 構成団体の令和 5 年度決算において訴訟和解金とあるが、指定管理に係るものか。

応 指定管理関係ではない。

- 委 経費削減について人件費削減を挙げているが、従業員の賃金維持との両立について、具体的な方法と給与の支給方法、また現在の正規、非正規職員の雇用状況や無期雇用への転換があったかについて問う。
- 応 雇用形態として正規職員と非正規職員がある。非正規職員が勤務する人数の約 7 割を占める。人件費の削減手段として、正規職員は勤続年数により給与が上がるため（施設にかかる人件費が上昇してしまうことから）、一定年数勤務後は他の勤務場所に異動させ、一定した勤務年数の者を配置することで施設に係る人件費を抑える。非正規職員は法令や自治体条例に従った金額を支給している。無期雇用転換は 4,5 人と認識している。
- 委 総合体育館での紫外線を防止するフィルター費用や、レストランのスポーツ関連資料の定期購読費用について問う。また、武道館の自主事業の集客について今後の予定を問う。
- 応 フィルター費用については指定管理料で対応する予定。スポーツ関連資料については自主事業として対応する予定である。武道館の自主事業については、子どもから高齢者、障がい者の幅広い参加をテーマとして挙げている。自主事業全体で採算性を確保しつつ、今後は広報や実施日時の見直し等で参加率を上げていきたい。
- 委 コスト削減の一方でサービス向上や、利用者数向上、公園の快適性向上を目標としているが、今までと異なる職能の職員の必要性や確保について、具体的な見通しを伺う。
- 応 令和 5 年度は他施設の指定管理者の協力もえて実施した事業により、参加者数が増加した。今後も協力者を増やしながら事業を実施し利用者数を向上させたい。公園機能向上の職能については、構成団体 1 社のパークマネジメント事業のノウハウにより、研修や勉強会を通じて職員を育成していきたい。

（２）第 2 グループよりプレゼンテーション説明がなされた。

プレゼンテーション終了後、委員よりヒアリングがなされた。

■ヒアリング内容

- 委 専門的な対応が必要な陸上競技場の天然芝の管理レベルの維持について、管理体制および管理実績について問う。
- また、既得権益等の既存の独自ルールの変更を提案しているが、現時点で変更を考えているルールは何か。
- 応 天然芝については構成団体が管理を行い、経験のある現場作業事業者に作業委託を行う予定。他にも陸上競技場を練習で使用しているプロチームに意見を聞きながら管理していく。競技場レベルの天然芝を管理した実績はないが、小学校の校庭の天然芝の維持管理業務を請負っている。
- また、現時点で変更を考えているルールはない。運営協議会を立ち上げて利用者意見を聞きながら利用ルールの変更を考えていく。

- 委 レストランでのアルコール販売について、飲酒運転やトラブル防止対応策はあるか。
- 応 現在、他の指定管理施設ですでにアルコール販売を行っているが、その施設では、販売前に車の利用を確認している。現在に至るまでトラブル等は発生していない。
- 委 スポーツ施設の新規利用者の獲得について、広報宣伝費を毎年 300 万円計上しているが具体策はあるか。
- 応 イベント企画運営が強みである構成団体により、スポーツイベントを新たに実施し、未利用者を呼びたい。具体的には SDGs スポーツイベント、多摩スポーツフェスタ、スポーツの日のイベント、ロードサイクリイベントの 4 つを予定。
- 2 つ目として様々な媒体での広報を考えており、1 番の強みである公式 LINE の運用を予定。別指定管理者施設では 1300 人の登録者がいる。スポーツに興味のない人にも情報を届け、より多くの人に発見してもらう機会を増やす。
- 委 構成団体は近隣自治体でも指定管理を行っているとのことだが、管理期間年数、利用者数の増加はどの程度か。また、一度指定管理者が変更となっているが他事業者が採用された敗因は。
- 応 指定管理期間は 10 年前から 5 年前まで、一度 別の事業者に変更となった後、今年の 4 月から再度指定管理者となっている。利用者数は年間 45 万人であったが 55 万人に増加した。期間中の増加では大幅に増えたのはトレーニングルームであり、機器入れ替えを行った結果 6 万人から 11 万人に増加することができた。
- 前回の 5 年間はオリンピック期間と重なっており、採択された事業者はオリンピック選手を多数呼ぶことを提案していたことが、こちらの敗因になったと考えている。
- 委 これから指定管理を始める上で構成団体として自覚している課題はあるか。
- 応 現時点ではない。
- 委 年間利用者数について、令和 11 年までに 68 万 7 千人を必ず達成するという提案だが具体策はあるか。
- 応 広報宣伝やイベント実施で、一般の来場者数を上昇させる。また、初心者が参加しやすい大会を開催し、着実に施設利用者数を増加させたい。
- 委 イベント集客を一般の施設利用に繋げることや公式 LINE への登録してもらうことは一定のハードルがある。具体策はあるか。また、その具体策を実現させるための組織体制は。
- 応 公式 LINE は抽選機能を利用して、イベント景品や、レストランのドリンク一杯無料にする等取組みで登録促進に繋げていく。
- 一般利用に繋げることについては、すでに他施設で実施している仕組みとして、子供向け遊具の隣に卓球やニュースポーツを体験できるブースを設置し、スタンプラリー等で全種目を体験してもらうといったことを行っており、体験を通して楽しさを知ってもらい、一般利用に繋げたい。組織体制について、スタッフの人件費は本社経費として会社からの応援で実施していく予定。

3. 次第3、意見交換

委員間で意見交換がなされた。

- 委 いずれの事業体も運営能力はあるという印象を受けた。
第1グループについては、現状を踏まえた地に足が着いた提案だった。
第2グループは華々しく見えるが提案内容をどれだけ達成できるか未知数、過度に評価しないようにしたい。
- 委 財務状態では両グループとも仮払金については気になるが総じて問題ないと思われる。
レストランの夜間利用については、提案のあった第2グループが魅力的に感じた。来場者数増ふくめ提案内容を達成できるのか。提案内容が派手でなくとも管理の面で安定している方が良いと感じた。
- 委 レストランの提案について、冷凍自販機は良いと思った。他にもフィットネスを3日間無料でやる取組み等も良いと感じた。現管理者は、雰囲気作り、スタッフの対応がマニュアル的ではなく良い。
- 委 現管理者の職員対応は良いが、窓口委託事業者の対応には課題がある。市民サービスに合ったスタッフの配置を期待したい。
どちらも地元企業の採用を強調していた。
第1グループの公園文化の醸成に対する回答は曖昧だった。公園施設をスポーツ施設とうまくリンクできると良い。
- 委 第1グループは、非正規職員の育成については非常に重要な点と認識した。課題として挙げた点がトレーニングマシンの刷新としていたのは残念。
第2グループは大風呂敷を敷いている感があった。芝生管理について競技場レベルの管理実績がないことが気になった。
- 委 第1グループは具体性のない提案が多いと感じた。
第2グループは提案する上で、施設の下見をしっかり行った上で提案していると感じた。

○事務連絡

事務局より、次回選定委員会の案内がなされた。